

盛岡広域振興局長

提出者

住所 〒020-0693 岩手県滝沢市巣子152-52

氏名 公立大学法人岩手県立大学

理事長 石堂 淳

（法人にあつては、その名称及び代表者の氏名）

地球温暖化対策実施状況届出書

県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例第83条の規定により、地球温暖化対策の実施状況について、次のとおり届け出ます。

1. 事業者に関する事項

主たる工場又は事業場の名称	公立大学法人岩手県立大学	*整理番号	
主たる工場又は事業場の所在地	岩手県滝沢市巣子152-52	*受理年月日	年 月 日
エネルギー使用量	1,706 kl	*施設番号	
自動車の使用台数	台		
二酸化炭素の排出の状況	別紙のとおり。		
二酸化炭素の排出の抑制のための措置状況			
その他の地球温暖化の対策の実施状況			
変更年月日及び理由	年 月 日		
エネルギーの使用の合理化等に関する法律第19条第1項に定める連鎖化事業者	該当しない		

2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧

工場等の名称	工場等の所在地	エネルギーの使用量
岩手県立大学	〒020-0693 滝沢市巣子152-52	1,616 kℓ
岩手県立大学宮古短期大学部	〒020-0039 宮古市河南1-5-1	63 kℓ
岩手県立大学地域連携棟	〒020-0611 滝沢市巣子152-89	27 kℓ

備考1 *印の欄には、記載しないこと。

- エネルギー使用量の欄は県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例施行規則第39条第1項に規定する工場又は事業場に該当する場合に、自動車の使用台数の欄は同条第2項に該当する場合に記載すること。
- エネルギー使用量については、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則（昭和54年通商産業省令第74号）第4条の方法により原油の数量へ換算した量を記載すること。
- 変更計画書の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させる。
2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧の記載欄が足りない場合には、成の上、添付してください。



別紙 その1 (工場又は事業用)

1 温室効果ガスの排出状況

(1) エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量

事業所全体(岩手県立大学・地域連携棟・宮古短期大学部)

エネルギーの種類	(6)年度				E-F-D	二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)	前年度二酸化炭素 排出量 (t-CO ₂)	前年比二酸化炭素 排出量 (t-CO ₂)	
	エネルギーの使用量		販売したエネルギー使用量						
	数量 A	単位 B	数量 C	単位 D					
原油(コンデンセートを除く)		kL		kL					
原油のうちコンデンセート(NGL)		kL		kL					
揮発油(ガソリン)		kL		kL					
ナフサ		kL		kL					
ジェット燃料		kL		kL					
灯油		kL		kL		0	3	-3	
軽油		kL		kL					
A重油	790.00	kL	30,731	kL	30,731	2,175	2,271	-98	
B・C重油		kL		kL					
石油アスファルト		t		t					
石油コークス		t		t					
石油ガス	液化石油ガス(LPG)	9.00	t	451	t	451	27	30	-3
	石油系炭化水素ガス		千m ³		千m ³				
可燃性天然ガス	液化天然ガス(LNG)		t		t				
	その他可燃性天然ガス		千m ³		千m ³				
石炭	輸入原料炭		t		t				
	原料炭		t		t				
	コークス用原料炭		t		t				
	吹込用原料炭		t		t				
	一般炭		t		t				
輸入無煙炭		t		t					
石炭コークス		t		t					
コールタール		t		t					
コークス炉ガス		千m ³		千m ³					
高炉ガス		千m ³		千m ³					
発電用高炉ガス		千m ³		千m ³					
転炉ガス		千m ³		千m ³					
その他の燃料	都市ガス		千m ³		千m ³				
	()								
非化石燃料	黒液		t		t				
	木材		t		t				
	木質廃材		t		t				
	バイオエタノール		kL		kL				
	バイオディーゼル		kL		kL				
	バイオガス		千m ³		千m ³				
	その他バイオマス		t		t				
	RDF		t		GJ/t				
	RPF		t		GJ/t				
	廃タイヤ		t		GJ/t				
	廃プラスチック(一般廃棄物)		t		GJ/t				
	廃プラスチック(産業廃棄物)		t		GJ/t				
	廃油		kL		GJ/kL				
	廃棄物ガス		千m ³		千m ³				
混合廃材		t		t					
水素		t		t					
アンモニア		t		t					
その他燃料()									
小計①					31,182	2,202	2,304	-102	
熱	産業用蒸気		GJ		GJ				
	産業用以外の蒸気		GJ		GJ				
	温水		GJ		GJ				
	冷水		GJ		GJ				
	地熱		GJ		GJ				
	温泉熱		GJ		GJ				
	太陽熱		GJ		GJ				
	管水熱		GJ		GJ				
小計②									
電気	電気事業者①	3,749.00	千kWh	32,391	千kWh	32,391	2,278	1,778	500
	電気事業者②(重複契約している場合使用 自己託送(非燃料由来を除く))		千kWh		千kWh				
	自家発電		千kWh		千kWh				
	太陽光		千kWh		千kWh				
	水力		千kWh		千kWh				
	風力	707.00	千kWh	2,545	千kWh	2,545			
小計③					34,937	2,278	1,778	500	
合計④=①+②+③					66,118	4,479	4,082	397	

(2) 原油換算エネルギー使用量=(1)のエネルギー合計使用量×0.0258

原油換算エネルギー使用量	1,706	kL
--------------	-------	----

(3) 温室効果ガスの総排出量

区分	温室効果ガスの排出量	
二酸化炭素の排出量	エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素	4,479 t-CO ₂
	上記以外の二酸化炭素	t-CO ₂
メタンの排出量	t-CO ₂	
一酸化二窒素の排出量	t-CO ₂	
ハイドロフルオロカーボンの排出量	t-CO ₂	
パーフルオロカーボンの排出量	t-CO ₂	
六ふっ化硫黄の排出量	t-CO ₂	
三ふっ化窒素の排出量	t-CO ₂	
合計	4,479 t-CO ₂	

備考1 原油換算量は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則(昭和54年通商産業省令第74号)第4条の方法により換算してください。
 2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令(平成11年政令第143号)の第3条の規定により算定してください。
 3 エネルギーの使用量の欄には、県内に設置している工場又は事業所並びに店舗におけるエネルギー使用量の合計を記載してください。

別紙 その1 (工場又は事業所用)

1 温室効果ガスの排出状況

(1) エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量

岩手県立大学

エネルギーの種類	(6)年度						E=B-D	二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)	前年度二酸化炭素 排出量 (t-CO ₂)	対前年度比二酸化炭素 排出量 (t-CO ₂)
	エネルギーの使用量			販売したエネルギー使用量						
	数値 A	単位	熱量(GJ) B	数値 C	単位	熱量(GJ) D				
原油(コンデンセートを除く)		kL			kL					
原油のうちコンデンセート(NGL)		kL			kL					
揮発油(ガソリン)		kL			kL					
ナフサ		kL			kL					
ジェット燃料		kL			kL					
灯油		kL			kL					
軽油		kL			kL					
A重油	782.00	kL	30,420		kL		30,420	2,153	2,249	-96
B・C重油		kL			kL					
石油アスファルト		t			t					
石油コークス		t			t					
石油ガス	9.00	t	451		t		451	27	30	-3
液化石油ガス(LPG)		t			t					
石油系炭化水素ガス		千m ³			千m ³					
液化天然ガス(LNG)		t			t					
その他可燃性天然ガス		千m ³			千m ³					
石炭		t			t					
輸入原料炭		t			t					
原料炭		t			t					
コークス用原料炭		t			t					
吹込用原料炭		t			t					
一般炭		t			t					
輸入一般炭		t			t					
国産一般炭		t			t					
輸入無煙炭		t			t					
石炭コークス		t			t					
コールダー		t			t					
コークス炉ガス		千m ³			千m ³					
高炉ガス		千m ³			千m ³					
発電用高炉ガス		千m ³			千m ³					
転炉ガス		千m ³			千m ³					
都市ガス		千m ³			千m ³					
その他の燃料 ()										
()										
黒液		t			t					
木材		t			t					
木質廃材		t			t					
バイオエタノール		kL			kL					
バイオディーゼル		kL			kL					
バイオガス		千m ³			千m ³					
その他バイオマス		t			t					
RDF		t			GJ/t					
RPF		t			GJ/t					
廃タイヤ		t			GJ/t					
廃プラスチック(一般廃棄物)		t			GJ/t					
廃プラスチック(産業廃棄物)		t			GJ/t					
廃油		kL			GJ/kL					
廃棄物ガス		千m ³			千m ³					
混合廃材		t			t					
水素		t			t					
アンモニア		t			t					
その他燃料()										
小計①							30,871	2,180	2,279	-99
産業用蒸気		GJ			GJ					
産業用以外の蒸気		GJ			GJ					
温水		GJ			GJ					
冷水		GJ			GJ					
地熱		GJ			GJ					
温泉熱		GJ			GJ					
太陽熱		GJ			GJ					
温水熱		GJ			GJ					
小計②										
電気事業者①	3,380.00	千kWh	29,203		千kWh		29,203	2,129	1,601	528
電気事業者②		千kWh			千kWh					
自己託送(非燃料由来を除く)		千kWh			千kWh					
自家発電		千kWh			千kWh					
太陽光		千kWh			千kWh					
水力		千kWh			千kWh					
風力		千kWh			千kWh					
その他	707.00	千kWh	2,545		千kWh		2,545			
小計③							31,748	2,129	1,601	528
合計④=①+②+③							62,619	4,309	3,880	429

(2) 原油換算エネルギー使用量 = (1)のエネルギー合計使用量 × 0.0253

原油換算エネルギー使用量	1,616	kL
--------------	-------	----

(3) 温室効果ガスの総排出量

区分	温室効果ガスの排出量
二酸化炭素の排出量	4,309 t-CO ₂
メタンの排出量	t-CO ₂
一酸化二窒素の排出量	t-CO ₂
六フッ化硫黄の排出量	t-CO ₂
三フッ化窒素の排出量	t-CO ₂
合計	4,309 t-CO ₂

備考1 原油換算量は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則(昭和54年通商産業省令第74号)第4条の方法により換算してください。
 2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令(平成11年政令第143号)の第3条の規定により算定してください。
 3 エネルギーの使用量の欄には、県内に設置している工場又は事業所並びに店舗におけるエネルギー使用量の合計を記載してください。

別紙 その1 (工場又は事業者用)

1 温室効果ガスの排出状況

(1) エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量

盲石短期大学部

エネルギーの種類	6年度										E=B-D	二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)	換算二酸化炭素 排出量 (t-CO ₂)	対前年度比二酸化炭素 排出量 (t-CO ₂)	
	エネルギーの使用量					販売したエネルギー使用量									
	数量 A	単位	熱量(GJ) B	数量 C	単位	熱量(GJ) D									
原油(コンデンセートを除く)		kL			kL										
原油のうちコンデンセート(NGL)		kL			kL										
揮発油(ガソリン)		kL			kL										
ナフサ		kL			kL										
ジェット燃料		kL			kL										
灯油	0	kL			kL						0	3	-3		
軽油		kL			kL										
A重油	8.00	kL	311		kL				311		22	22	0		
B・C重油		kL			kL										
石油アスファルト		t			t										
石油コークス		t			t										
石油ガス	液化石油ガス(LPG)				t										
	石油炭化水素ガス				千m ³				千m ³						
	液化天然ガス(LNG)				t				t						
	その他可燃性天然ガス				千m ³				千m ³						
石炭	輸入原料炭				t				t						
	原料炭				t				t						
	吹込用原料炭				t				t						
	一般炭				t				t						
	国産一般炭				t				t						
輸入無煙炭				t				t							
石炭コークス		t			t			t							
コールタール		t			t			t							
コークス炉ガス		千m ³			千m ³			千m ³							
高炉ガス		千m ³			千m ³			千m ³							
発電用高炉ガス		千m ³			千m ³			千m ³							
転炉ガス		千m ³			千m ³			千m ³							
都市ガス		千m ³			千m ³			千m ³							
その他の燃料 ()															
小計①									311		22	25	-3		
黒液		t			t										
木材		t			t										
木質廃材		t			t										
バイオエタノール		kL			kL										
バイオディーゼル		kL			kL										
バイオガス		千m ³			千m ³				千m ³						
その他バイオマス		t			t				t						
RDF		t			GJ/t				GJ/t						
RPF		t			GJ/t				GJ/t						
廃タイヤ		t			GJ/t				GJ/t						
廃プラスチック(一般廃棄物)		t			GJ/t				GJ/t						
廃プラスチック(産業廃棄物)		t			GJ/t				GJ/t						
廃油		kL			GJ/kL				GJ/kL						
廃棄物ガス		千m ³			千m ³				千m ³						
混合廃材		t			t				t						
水素		t			t				t						
アンモニア		t			t				t						
その他燃料 ()															
小計②															
産業用蒸気		GJ			GJ				GJ						
産業用以外の蒸気		GJ			GJ				GJ						
温水		GJ			GJ				GJ						
冷水		GJ			GJ				GJ						
地熱		GJ			GJ				GJ						
温泉熱		GJ			GJ				GJ						
太陽熱		GJ			GJ				GJ						
雷水熱		GJ			GJ				GJ						
小計③															
電気事業者①	246.00	千kWh	2,125		千kWh				2,125		99	113	-14		
電気事業者②(重複稼働している場合使用)		千kWh			千kWh				千kWh						
自己託送(非燃料由来を除く)		千kWh			千kWh				千kWh						
自家発電		千kWh			千kWh				千kWh						
太陽光		千kWh			千kWh				千kWh						
水力		千kWh			千kWh				千kWh						
風力		千kWh			千kWh				千kWh						
その他		千kWh			千kWh				千kWh						
小計④									2,125		99	113	-14		
合計④=①+②+③+④									2,437		121	138	-17		

(2) 原油換算エネルギー使用量=(1)のエネルギー合計使用量×0.0258)

原油換算エネルギー使用量	63	kL
--------------	----	----

(3) 温室効果ガスの総排出量

区分		温室効果ガスの排出量
二酸化炭素の排出量	エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素	121 t-CO ₂
	上記以外の二酸化炭素	t-CO ₂
メタンの排出量		t-CO ₂
一酸化窒素の排出量		t-CO ₂
ハイドロフルオロカーボンの排出量		t-CO ₂
パーフルオロカーボンの排出量		t-CO ₂
六ふっ化炭素の排出量		t-CO ₂
三ふっ化窒素の排出量		t-CO ₂
合計		121 t-CO ₂

備考1 原油換算量は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則(昭和54年通商産業省令第74号)第4条の方法により換算してください。
 2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令(平成11年政令第143号)の第3条の規定により算定してください。
 3 エネルギーの使用量の欄には、県内に設置している工場又は事業所並びに店舗におけるエネルギー使用量の合計を記載してください。

別紙 その1 (工場又は事業者用)

1 温室効果ガスの排出状況

(1) エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量

エネルギーの種類	地域連携棟						E=B-D	二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)	約年度二酸化炭素 排出量 (t-CO ₂)	対前年度比二酸化炭素 排出量 (t-CO ₂)
	エネルギーの使用量		6年度							
	数量 A	単位	数量(GJ) B	数量 C	単位	数量(GJ) D				
原油(コンデンセートを除く)		kL			kL					
原油のうちコンデンセート(NGL)		kL			kL					
揮発油(ガソリン)		kL			kL					
ナフサ		kL			kL					
ジェット燃料		kL			kL					
灯油		kL			kL					
軽油		kL			kL					
A重油		kL			kL					
B・C重油		kL			kL					
石油アスファルト		t			t					
石油コークス		t			t					
石油ガス	液化石油ガス(LPG)		t		t					
	石油系炭化水素ガス		千m ³		千m ³					
可燃性天然ガス	液化天然ガス(LNG)		t		t					
	その他可燃性天然ガス		千m ³		千m ³					
石炭	原料炭	輸入原料炭		t		t				
		コークス用原料炭		t		t				
		吹込用原料炭		t		t				
	一般炭	輸入一般炭		t		t				
		国産一般炭		t		t				
		輸入無煙炭		t		t				
石炭コークス		t			t					
コールタール					t					
コークス炉ガス		千m ³			千m ³					
高炉ガス		千m ³			千m ³					
発泡用高炉ガス		千m ³			千m ³					
転炉ガス		千m ³			千m ³					
	都市ガス		千m ³		千m ³					
その他の燃料	()									
	()									
黒液		t			t					
木材		t			t					
木質廃材		t			t					
バイオエタノール		kL			kL					
バイオディーゼル		kL			kL					
バイオガス		千m ³			千m ³					
その他バイオマス		t			t					
RDF		t			GJ/t					
RPF		t			GJ/t					
廃タイヤ		t			GJ/t					
廃プラスチック(一般廃棄物)		t			GJ/t					
廃プラスチック(産業廃棄物)		t			GJ/t					
廃油		kL			GJ/kL					
廃棄物ガス		千m ³			千m ³					
混合廃材		t			t					
水素		t			t					
アンモニア		t			t					
その他燃料()										
小計①										
商業用蒸気		GJ			GJ					
産業用以外の蒸気		GJ			GJ					
温水		GJ			GJ					
冷水		GJ			GJ					
地熱		GJ			GJ					
温泉熱		GJ			GJ					
太陽熱		GJ			GJ					
雪氷熱		GJ			GJ					
小計②										
電気事業者①	123.00	千kWh	1,063		千kWh	1,063	49	65	-16	
電気事業者② ※複数契約している場合使用		千kWh			千kWh					
自己託送(非燃料由来を除く)		千kWh			千kWh					
自家発電		千kWh			千kWh					
	太陽光				千kWh					
	水力				千kWh					
	風力				千kWh					
	その他				千kWh					
小計③						1,063	49	65	-16	
合計④=①+②+③						1,063	49	65	-16	

(2) 原油換算エネルギー使用量=(1)のエネルギー合計使用量×0.0258)

原油換算エネルギー使用量	27	kL
--------------	----	----

(3) 温室効果ガスの総排出量

区分	温室効果ガスの排出量
二酸化炭素の排出量	49 t-CO ₂
エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素	t-CO ₂
上記以外の二酸化炭素	t-CO ₂
メタンの排出量	t-CO ₂
一酸化二窒素の排出量	t-CO ₂
ハイドロフルオロカーボンの排出量	t-CO ₂
パーフルオロカーボンの排出量	t-CO ₂
六ふっ化硫黄の排出量	t-CO ₂
三ふっ化硫黄の排出量	t-CO ₂
合計	49 t-CO ₂

備考1 原油換算量は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則(昭和54年通商産業省令第74号)第4条の方法により換算してください。
 2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令(平成11年政令第143号)の第3条の規定により算定してください。
 3 エネルギーの使用量の欄には、県内に設置している工場又は事業所並びに店舗におけるエネルギー使用量の合計を記載してください。

別紙 その2

1 地球温暖化対策計画の達成状況

【目標値の達成状況(進捗状況)】

・令和4年度から令和6年度は原油換算で対前年度比1%削減を目標として取組を行った。令和4年度は対前年度比0.2%増加、令和5年度は対前年度比4.6%減少、令和6年度は対前年度比7%減少という結果であった。令和5年度、令和6年度については目標を達成することができた。令和4年度は大学全体で新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、講義室等の窓を開けながら空調を稼働させたことなどが起因していると考えられる。

【具体的な取組状況】

①電気

- ・各場所の状況や時間に応じて間引き点灯
- ・パソコン、コピー機等の省電力設定、及び未使用時の電源をOFFの励行

②空調

実生教室等の空調停止の推進及び、冷暖房運転の温度管理を徹底

③クールビズやウォームビズ

- ・教職員や学生に対し、夏季や冬季時に服装による体温調整を周知

④省エネに関する全学的取組

- ・ゼロ・カーボン化推進員を各学部、各室から選出し、全学的に節電等の取組の周知を図った。

備考 計画書に記載した各種取組の進捗・達成状況について記載してください

2 その他の地球温暖化の対策の実施状況

コピー用紙はリサイクル用紙とし、両面コピーの徹底や裏紙利用等で資源削減に努めた。

別紙 その3 (自動車用)

1 二酸化炭素の排出の状況

自動車関係の二酸化炭素排出量 (年度)

自動車		二酸化炭素の排出			燃料使用 量対前年 度比(%)
燃料別	保有台数	燃料使用量 (A)	排出係数 (B)	排出量 (A×B)	
ガソリン	()	ℓ	2.29 kg-CO ₂ /ℓ	kg-CO ₂	
軽油	()	ℓ	2.62 kg-CO ₂ /ℓ	kg-CO ₂	
LPG	()	kg	2.99 kg-CO ₂ /kg	kg-CO ₂	
電気		kWh	0.402 kg-CO ₂ /kWh	kg-CO ₂	
その他	()		kg-CO ₂ /()	kg-CO ₂	
合計	0 (0)			kg-CO ₂	

- 備考1 保有台数欄の () には、ハイブリッド車の台数 (内数) を記載してください。
 2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令 (平成11年政令第143号) の第3条の規定により算定してください。

2 地球温暖化対策計画の達成状況

【目標値の達成状況(進捗状況)】

【具体的な取組状況】

備考 計画書に記載した各種取組の進捗・達成状況について記載してください

3 その他の地球温暖化の対策に関する事項